



コメを食べる村の子どもたち (ブルキナファソ) ©FAO/Alessandra Benedetti

## 飢餓人口、10億2,000万人に —6人に1人が栄養不足、史上最悪に

FAOが発表した最新の試算によると、世界の飢餓人口は2009年に11%増加し、史上最高の10億2,000万人に達すると予測されます。この増加は農作物の不作によるものではなく、世界的な経済危機による所得低下や失業の増加が、貧しい人の食料入手を困難にしていることが原因です。

輸出需要の低下と海外直接投資の削減が都市部の雇用に強い打撃を与えることが予測されるため、都市部の貧困層は、最も深刻な問題に直面することが危惧されます。また、何百万という都市部移住者が地方へ戻らなければならないため、農村の貧困層も負担を強いられることが予想されます。過去の危機と

異なり、混乱は世界全域にほぼ同時に影響を与えているため、開発途上国は為替の切下げや国際金融市場からの借り入れといった策を講じることに制約があります。経済危機はまた、2006年から2008年にかけての食料と燃料危機の直後に続きました。食料価格は下がったとはいえ、いまだ国際価格は2006年に比べ24%高く、2005年に比べると33%高いということに留意する必要があります。(6/19、ローマ)

### 関連ウェブサイト

World Food Situation : [www.fao.org/worldfoodsituation](http://www.fao.org/worldfoodsituation)  
International Fund for Agricultural Development (IFAD) : [www.ifad.org](http://www.ifad.org)  
World Food Programme (WFP) : [www.wfp.org](http://www.wfp.org)  
FAO日本事務所：プレスリリース：10億2000万人が飢餓に：[www.fao.or.jp/media/press\\_090619.pdf](http://www.fao.or.jp/media/press_090619.pdf)

## Contents

Top -----

飢餓人口、  
10億2,000万人に

Articles -----

世界の食料供給は  
徐々に安定

東アフリカで  
アカトビバツを防除へ

植物遺伝資源保護への  
新たな取組み

アフリカの眠れる巨人

海洋生態系と  
漁業・養殖業を守るために

Perspectives ---

世界食料サミット

Activities -----

出版物

講演会

Info -----

今後の主な活動予定

テレフォード募金にご協力を

メールニュース配信のお知らせ

FAO 寄託図書館のご案内

本紙の配布について

# Articles

## 世界の食料供給は徐々に安定

—しかし依然ショックを内包している可能性も

FAOが発表した「Food Outlook（世界の食料需給見通し）」によると、2009年の世界の穀物生産は史上2番目に高い22億1,900万トンと予測され、昨年の食料危機時に比べると食料供給は安定しているとみられます。とはいえ、農業部門とエネルギー・金融・為替市場のつながりが強まっていることから、食料価格が外部のショックの影響を受けやすくなっていることは否定できません。(6/4、ローマ)

OECDとFAOによる農業見通し「OECD-FAO Agricultural Outlook 2009-2018」は、景気回復が2、3年以内に始まれば、食料価格の下落や生産・消費の減少も緩和されると分析しています。中期的には、途上国からの新たな食料需要の増加、バイオ燃料市場の拡大が農産物市場を支える推進力となると同時に、エネルギー価格や不安定な気象が極端な価格変動をもたらす可能性もあります。長期的には、食料の有無ではなく食料へのアクセスが課題であり、途上国における農業生産の向上が鍵となります。(6/17、ローマ)

### 関連ウェブサイト

OECD-FAO Agricultural Outlook 2009-2018 : [www.agri-outlook.org/pages/0,2987,en\\_36774715\\_36775671\\_1\\_1\\_1\\_1\\_1,00.html](http://www.agri-outlook.org/pages/0,2987,en_36774715_36775671_1_1_1_1_1,00.html)  
World Food Situation : [www.fao.org/worldfoodsituation](http://www.fao.org/worldfoodsituation)  
FAO日本事務所：プレスリリース：農業は他の部門より世界的な危機に対して強靱である : [www.fao.or.jp/media/press\\_090617.pdf](http://www.fao.or.jp/media/press_090617.pdf)  
FAO Food Outlook : [www.fao.org/docrep/011/ai482e/ai482e00.htm](http://www.fao.org/docrep/011/ai482e/ai482e00.htm)  
FAO日本事務所：プレスリリース：世界の食料供給は徐々に安定しつつある : [www.fao.or.jp/media/press\\_090604.pdf](http://www.fao.or.jp/media/press_090604.pdf)

## 東アフリカで アカトビバッタを防除へ

FAOは、タンザニアにおいて、現地の専門機関と共にアカトビバッタの大発生を生物農薬で抑制することに成功しました。アカトビバッタの大群は1日20-30kmを移動し、そのごく一部(1トン分の成虫)でも1日で約2,500人分の食料(特に穀物やサトウキビなど貧しい農家が耕作する作物)を消費します。使用された生物農薬「Green Muscle」は菌類の一種と鉱油を混ぜ合わせたもので、人間や環境への影響はありません。今後、マラウイをはじめとする周辺国でも、同様の活動が行われる予定です。(6/24、ローマ)

### 関連ウェブサイト

Migratory pests : [www.fao.org/agriculture/crops/core-themes/theme/pests/migratory-pests](http://www.fao.org/agriculture/crops/core-themes/theme/pests/migratory-pests)  
Photo gallery : [www.fao.org/english/newsroom/photos/en\\_red\\_locust\\_gallery](http://www.fao.org/english/newsroom/photos/en_red_locust_gallery)

食料価格は多くの貧困国で依然高いままである  
©FAO/Rhodri Jones



さまざまな種類のトウモロコシ。世界を養うには多様性が必要である ©P.J. Mahler

## 植物遺伝資源保護への 新たな取り組み

2004年に「食料農業植物遺伝資源条約」が発効して初めて、種子や遺伝資源の保護に貢献したプロジェクト等に対し、本条約による基金から資金が提供されることになりました。条約では64種の作物、100万サンプル以上の植物遺伝資源を保存しており、これらを活用した売り上げの1.1%を基金として積み立てています。作物遺伝資源の4分の3が20世紀に失われ、世界に1万種あったといわれる食用作物のうち、現在世界を養っているのは150種にすぎません。一方で、今でも貧しい国の遠隔地では新種や未開発の作物が地元農民によって伝統的に栽培されています。作物の多様性を確保するためには、こうした農業者への支援が不可欠です。(6/1、6/2、ローマ/チュニス)

### 関連ウェブサイト

International Treaty on Plant Genetic Resources for Food and Agriculture : [www.planttreaty.org](http://www.planttreaty.org)





## アフリカの眠れる巨人

——ギニアのサバンナが商業的農地へ

25ヵ国に広がるアフリカのサバンナは、域内の国を世界有数の農作物生産国に押し上げる可能性を持っている——FAOと世界銀行は、同地域を東北タイおよびブラジルのセラード\*と比較分析した研究報告書を発表しました。セネガルから南アフリカまで広がるギニア・サバンナ地帯には4億haの農業適地があるにもかかわらず、現在はその10%しか活用されていません。同地域は物理的条件が不利という点でセラードや東北タイと共通していますが、農業改革を始めた1980年当時の両地域よりも農業発展の条件に恵まれていると分析しています。また、小規模農家が農業開発に参画した方が貧困の削減率は高い反面、土地に制約のある家庭が付加価値の低い主食を生産する場合は、生産者に多角化の機会を与える必要があると指摘しています。(6/22、ローマ)

※ブラジル中西部に広がるサバンナ地帯

### 関連ウェブサイト

Purchase Awakening Africa's Sleeping Giant : [publications.worldbank.org/ecommerce/catalog/product \(c\) item\\_id=9081348](http://publications.worldbank.org/ecommerce/catalog/product(c) item_id=9081348)  
FAO Investment Centre : [www.fao.org/tc/tci](http://www.fao.org/tc/tci)

アフリカはコメ、綿花など多くの農作物の世界的な生産国となりうる ©FAO / Aliessandra Benedetti

## 海洋生態系と 漁業・養殖業を守るために

「気候変動に関する国際連合枠組条約 (UNFCCC)」の会議に先立ち、漁業・養殖業で生計を立てる人々が気候変動によって生活を脅かされるリスクに関する政策ブリーフが発表されました。調査によると、海洋・淡水魚種の分布や生産性はすでに変化し始めています。政策ブリーフは、環境に優しくエネルギー効率のよい漁業の適用、乱獲を促すような補助金の排除、地域レベルの海洋気候モデルの構築などを提案しています。(6/1、ローマ)

6月8日の「世界海洋デー」に、FAOは脆弱な深海の魚種や生態系への影響を減らすため、公海での深海漁業を管理するためのガイドラインを発行しました。深海魚種の多くは成長が遅く毎年繁殖しないため集中的漁業への抵抗力が弱いにもかかわらず、管理政策・計画の発展が遅れています。ガイドラインは、深海の生物資源の持続的利用に関する指導や、海洋生態系の場所や状況に関する情報を改善するための方法を提唱しています。(6/8、ローマ)

### 関連ウェブサイト

International guidelines for the management of deep sea fisheries in the high-seas : [www.fao.org/fileadmin/user\\_upload/newsroom/docs/0816t.pdf](http://www.fao.org/fileadmin/user_upload/newsroom/docs/0816t.pdf)  
World Oceans Day : [www.un.org/depts/los/reference\\_files/worldoceansday.htm](http://www.un.org/depts/los/reference_files/worldoceansday.htm)  
UN Oceans : [www.oceansatlas.org/www.un-oceans.org](http://www.oceansatlas.org/www.un-oceans.org)  
FAO's Fisheries and Aquaculture Department : [www.fao.org/fishery](http://www.fao.org/fishery)  
Information on deep sea fisheries : [www.fao.org/fishery/topic/12356](http://www.fao.org/fishery/topic/12356)  
World Fish Center : [www.worldfishcenter.org/wfcms/HQ/Default.aspx](http://www.worldfishcenter.org/wfcms/HQ/Default.aspx)  
Press release : World fisheries must prepare for climate change : [www.fao.org/news/story/en/item/10270](http://www.fao.org/news/story/en/item/10270)



## 今月の視点

### 世界食料サミット

2009年6月のFAO理事会において、食料安全保障に関する世界食料サミットが2009年11月16日から18日までローマで開催されることが決まりました。食料価格高騰、その後の世界不況の影響のため、世界の食料安全保障は著しく悪化してきており、世界の飢餓人口は、2009年には10億人を超えたと推定されています。我々は、気候変動、土地、水等の資源的制約の中で、この10億人に加えて、今後さらに増大する人口を、いかに養っていくかという大きな課題に直面しています。

サミットにおいては、(1)2025年までに飢餓を根絶すること、(2)世界の食料安全保障を統治するためのシステムを構築すること、(3)すべての国の農業者がそれぞれの国の他産業従事者と遜色のない所得を得られるよう、市場を歪曲することなく農業を支援すること、(4)1980年の17%から2006年には3.8%にまで低下してきたODAにおける農業分野のシェアを高めること、(5)食料生産の増大等が図られるよう、農村インフラの整備等のために年間300億ドルを準備すること、(6)食料危機に際しての早期対応メカニズムを導入することなどを話し合うことが期待されています。

(FAO日本事務所長 横山光弘)

関連報告書 : 第136回FAO理事会資料「Proposed World Summit on Food Security in 2009」  
[ftp://ftp.fao.org/docrep/fao/meeting/016/k5140e.pdf](http://ftp.fao.org/docrep/fao/meeting/016/k5140e.pdf)

# Activities

## 出版物

ジンバブエの食料事情を調査したFAOとWFPの調査団は、調査報告書「FAO/WFP Crop and Food Security Assessment Mission to Zimbabwe (ジンバブエにおける穀物および食料安全保障に関する評価ミッション)」を発表しました。ジンバブエ政府は今年3月に国内通貨を廃止しUSドルなどの外貨を導入することにより超インフレを解消し、さらに穀物市場の自由化を行いました。しかし、改革が今後の生産に及ぼす影響はまだ不確実です。2009年のトウモロコシ生産は豊作が予測されていますが、過去2年の不作や経済危機の影響で、農村では多くの世帯が苦しい生活を余儀なくされています。2009/10年には68万トンの穀物輸入が必要とされており、このうち50万トンの輸入が見込まれていますが、新しい経済環境で輸入が不確実な状況のなか、同国の穀物の需給バランスを定期的に追跡調査していくことが求められます。

### 関連ウェブサイト

FAO/WFP Crop and Food Security Assessment Mission to Zimbabwe : [www.fao.org/docrep/011/ai483e/ai483e00.htm](http://www.fao.org/docrep/011/ai483e/ai483e00.htm)  
World Food Programme : [www.wfp.org](http://www.wfp.org)



## 講演会

7月17日、横山FAO日本事務所長が、国際開発高等教育機構 (FASID) 主催の懇談会「ブラウン・バッグ・ランチ」において、「深刻化する食料不安：食料価格高騰の経験と教訓」と題して講演を行いました。世界の飢餓人口は、食料価格高騰や世界不況の影響で、2009年には10億人に達したと推定されていますが、こ

のような深刻化する食料不安の背景・要因である低所得食料不足国の農業生産の停滞、ODAにおける農業分野の比率の低下、バイオ燃料生産の拡大、世界の穀物在庫水準の低下、輸出規制の実施等について説明しました。また、最近の外国による農地取得の動向や11月に予定されている世界食料サミットについて言及しつつ、貧困国における農業への投資の増大が急務となっていることを強調しました。

### 関連ウェブサイト

FASID : 最近のFASID Brown Bag Lunchの実施概要 (平成21年度) : [www.fasid.or.jp/chosa/forum/bbl/bbl\\_21.html](http://www.fasid.or.jp/chosa/forum/bbl/bbl_21.html)



講演する横山FAO日本事務所長 ©FASID

## 今後の主な活動予定

2009.8.19-20

### 子どもアドベンチャー2009

神奈川/パシフィコ横浜 会議センター  
横浜市、横浜市教育委員会主催、  
FAO日本事務所協力  
プログラム「世界とつながる仕事」を実施

2009.8.21

### 世界子どもスポーツサミット in 横浜

神奈川/パシフィコ横浜 会議センター  
2009横浜国際トライアスロン大会等組織委員会、  
FAO日本事務所展示協力

2009.8.21-23

### 第6回ファームキャンプ2009

栃木/アジア学院 那須セミナーハウス  
ICF主催、FAO日本事務所後援

2009.9.5-6

### 横浜国際フェスタ2009

神奈川/パシフィコ横浜  
「横浜国際フェスタ2009」組織委員会主催、  
FAO日本事務所ブース出展

## テレフード募金にご協力を

募金は、アジアやアフリカの食料不足の地域で、貧困農民の食料増産を支援する「テレフード・プロジェクト」に使用されます。

※振替手数料無料。ご寄付は税金控除の対象となります。

郵便振替口座

00140-1-29732

FAO 飢餓撲滅草の根募金



## メールニュース配信のお知らせ

FAO日本事務所では、FAOに関する各種情報をEメールで不定期に配信しています。ご希望の方は下記までご連絡ください。

[FAO-Japan-Info@fao.org](mailto:FAO-Japan-Info@fao.org)

## FAO 寄託図書館のご案内

### 所在地

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5階

FAO日本事務所内

### 利用予約および問い合わせ

TEL : 045-226-3148

E-mail : [fao-library@jaicaf.or.jp](mailto:fao-library@jaicaf.or.jp)

### 開館時間

平日10:00-12:30、13:30-17:00

## 本紙の配布について

本紙「FAO Newsletter」は、季刊誌「世界の農林水産—FAO ニュース—」とセットでJAICAFの会員にお送りしています。ご希望の方はJAICAFまでお申し込みください。指定場所でも配布しています。詳しくはJAICAFウェブサイトをご覧ください。

発行：(社)国際農林業協働協会 (JAICAF)

〒107-0052

東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル3階

TEL : 03-5772-7880

E-mail : [fao@jaicaf.or.jp](mailto:fao@jaicaf.or.jp)

URL : [www.jaicaf.or.jp](http://www.jaicaf.or.jp)

共同編集：宮道りか、Linda Yao (FAO日本事務所)

森麻衣子、廣瀬ちづる (JAICAF)

翻訳協力：大軒 恵美子 ほか

デザイン：岩本 美奈子、藪内 新太

News source : [www.fao.org](http://www.fao.org)

この用紙は再生紙を使用しています

## FAO Newsletter

Aug. 2009

vol.41